

## 船舶事故等調査報告書

平成22年1月28日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009神第329号	
事故等種類	座洲	
発生日時	平成21年9月26日 07時15分ごろ	
発生場所	阪神港尼崎西宮芦屋区 JFEスチール西宮工場岸壁付近	
事故等調査の経過	平成21年10月26日、本インシデントの調査を担当する主管調査官（神戸事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A 押船 <sup>やはた</sup> 八幡丸、160トン 135512、篠野海運株式会社及び独立法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構の共有 B 台船 JFEN5、2,289トン なし、篠野海運株式会社	
乗組員等に関する情報	A 船長、四級海技士（航海） B なし	
死傷者等	なし	
損傷	なし	
事故等の経過	A船は、船長ほか6人が乗り組み、鋼材約1,083トンを積載したB船を押して、阪神港尼崎西宮芦屋区のJFEスチール西宮工場岸壁において離岸作業中、平成21年9月26日07時15分ごろ、A船の船尾船底付近に突然大きな衝撃を受けた。	
気象・海象	気象：曇り、風向 東、風力 2 海象：潮汐 上げ潮の中央期	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし A船は、B船を押して阪神港尼崎西宮芦屋区において離岸作業中、浅瀬があることを承知していたが、操船を適切に行わなかった可能性があると考えられる。
原因	本インシデントは、A船がB船を押して阪神港尼崎西宮芦屋区において離岸作業中、操船を適切に行わなかったため、A船が浅瀬に乗り揚げたことにより発生した可能性があると考えられる。	